

関東学連
プリントセレクション
コース解説

2019年度東京大学入学 本庄祐一

Ms $\triangle \rightarrow 1$

赤色 : 131 m

水色 : 139 m

濃青色 : 131 m (up 3m)

最速は赤.

しかし, どれを行ってもそこまで変わらないであろうことが予想される.
初めはスピードに乗りつつ, 先読みのストックを作っておくことが望まれる.



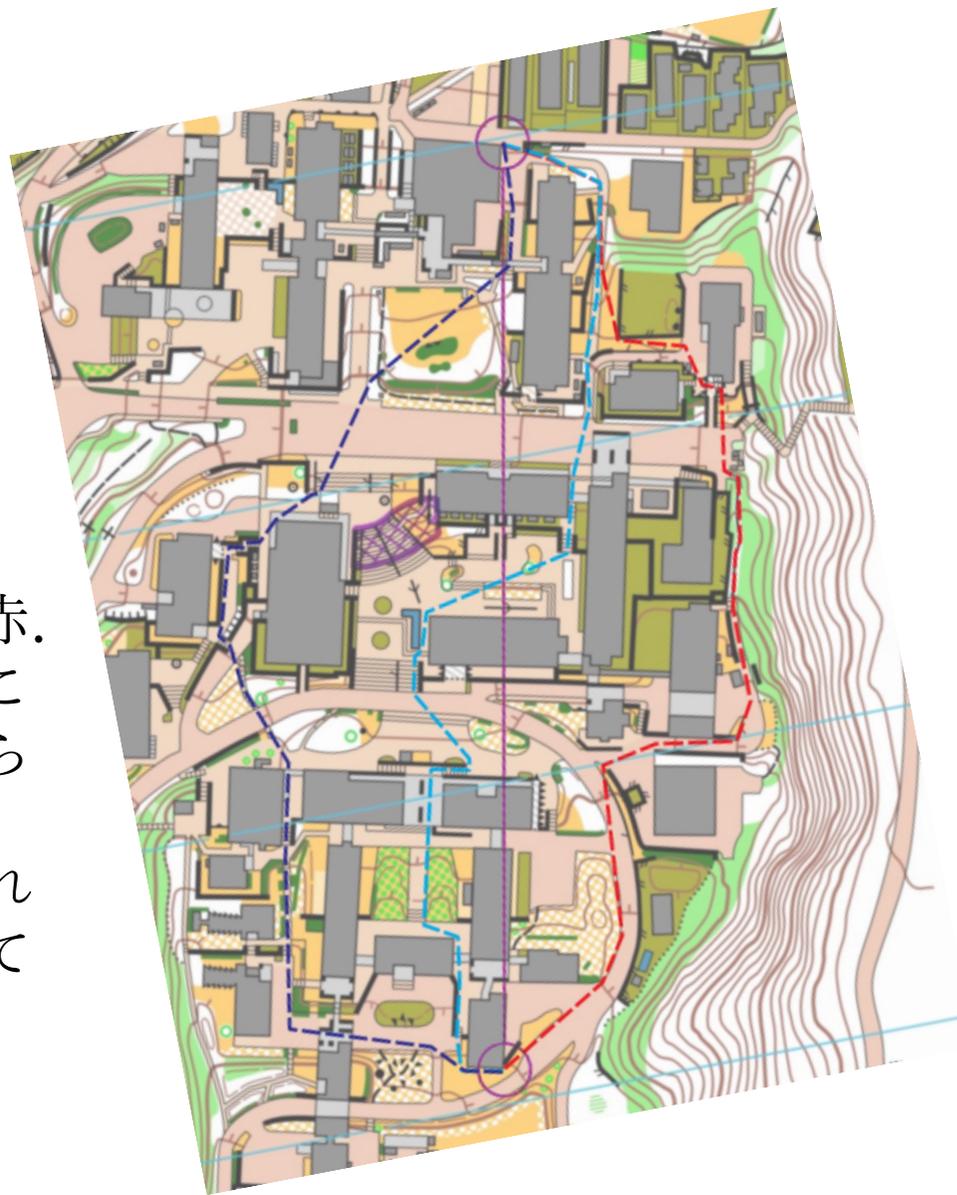
Ms 2→3

赤色：475 m

水色：463 m

濃青色：481 m

一番初めのロングレッグ。
最速はスピードにずっと乗れる赤。
しかし、初めの慣れないうちはこれら三つのうち一つしか見つからないこともあるだろう。
選んだレッグを自信を持って走ればそこまで差は出ないようにしている。

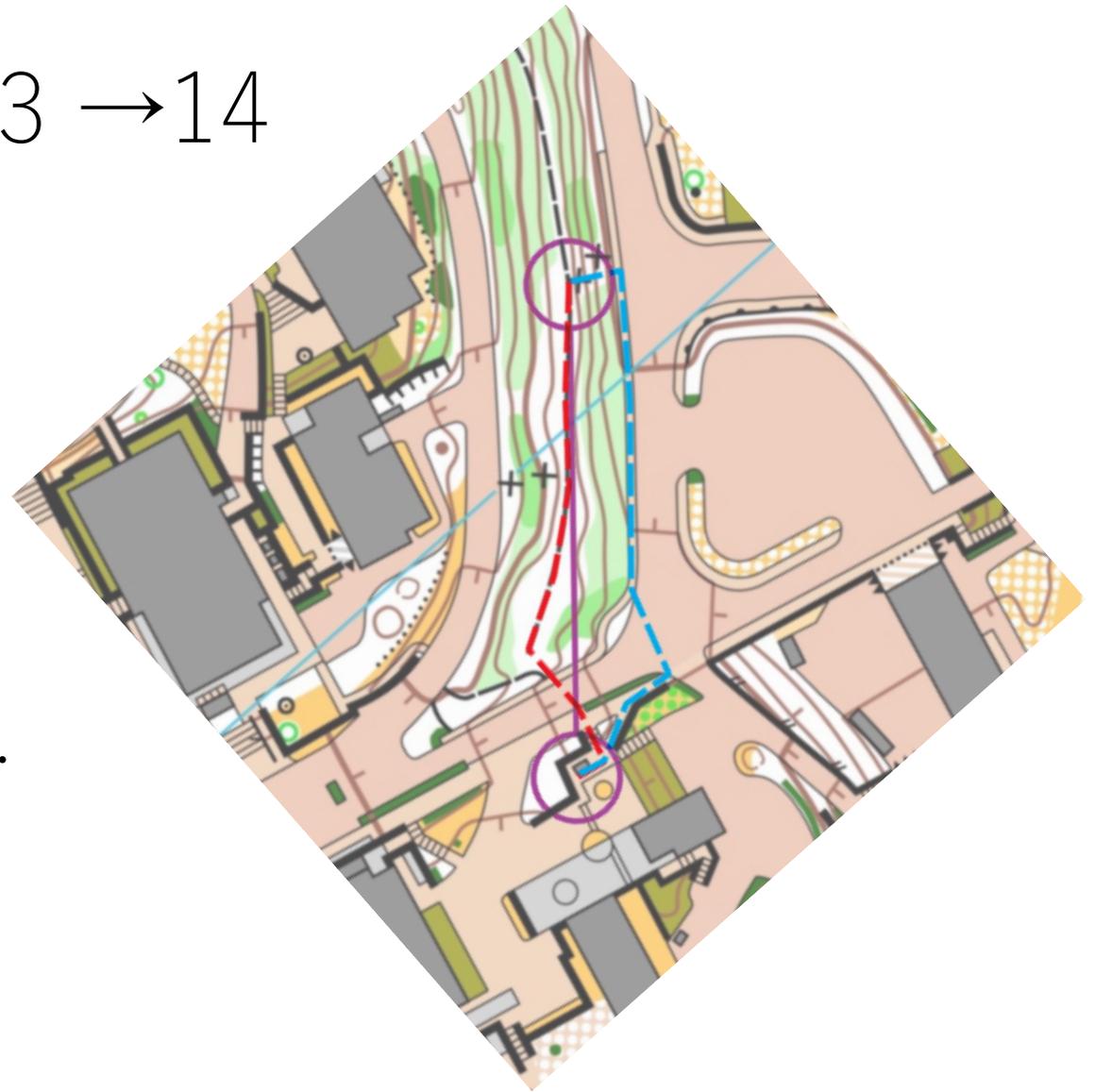


Ms 6→7 / Ws 13→14

赤色 : 124 m (up 4 m)

水色 : 139 m (up 8 m)

ここまで簡単なレグが連続した
中でのこのレグ。
体が下る方向に行った場合、水色
のようなレグを選んでしまうか
もしれないが、これは遅い。
最速は初めに少しだけ登り返す赤。
10~15秒程度の差が出ると予想し
ている。



Ms 8→9

赤色：124 m

水色：107 m (up 6 m)

これはどちらも変わらない。
ただし、水色は登りが多くなる。
これ以降のレックで登りが多いことを考えるとあまりお勧めできない。



Ms 11→12

赤色 : 130 m (up 8 m)

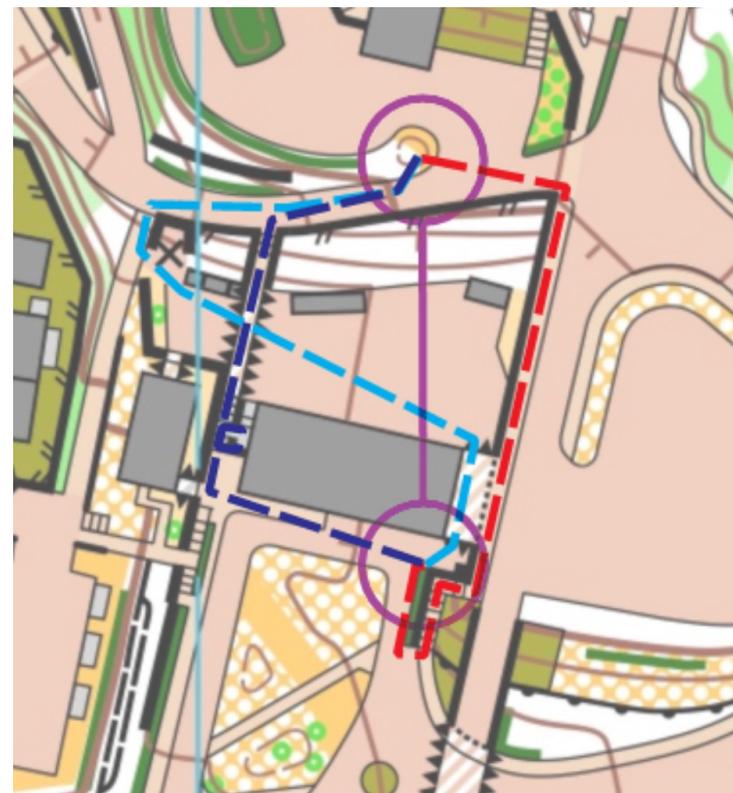
水色 : 141 m (up 6 m)

濃青色 : 123 m (up 6 m)

最速は赤だが、多くとも2秒程度の
違いなのでほぼ変わらない。

水色は少しだけ距離が伸びる。

濃青色は階段の構造を地図に表せない
関係上速く見えるが、そこまで速
くない。



Ms 13→14

赤色：441 m (up 34 m)

水色：556 m (up 34 m)

濃青色：515 m (up 34 m)

緑色：476 m (up 34 m)

勝負レック.

最速は最短の赤.

ルートが見えなければ濃青色や水色といった選択肢を取ることもあるだろうが、レック線から離れすぎていて距離がのびる.

このレックではいかに体力を残せていたかもタイム差に直結するであろう.



Ms 15→16

赤色 : 169 m (up 3 m)

水色 : 162 m

濃青色 : 181 m (up 2 m)

緑色 : 181 m (up 2 m)

最速は水色.

体の向きを変える回数が多いが、水色は登りもなく、距離も短いため流石に速い.

赤などに飛びつきたくなるが、最後のアタックまでしっかり読めていれば登り返すことがわかる.



Ms 16→17

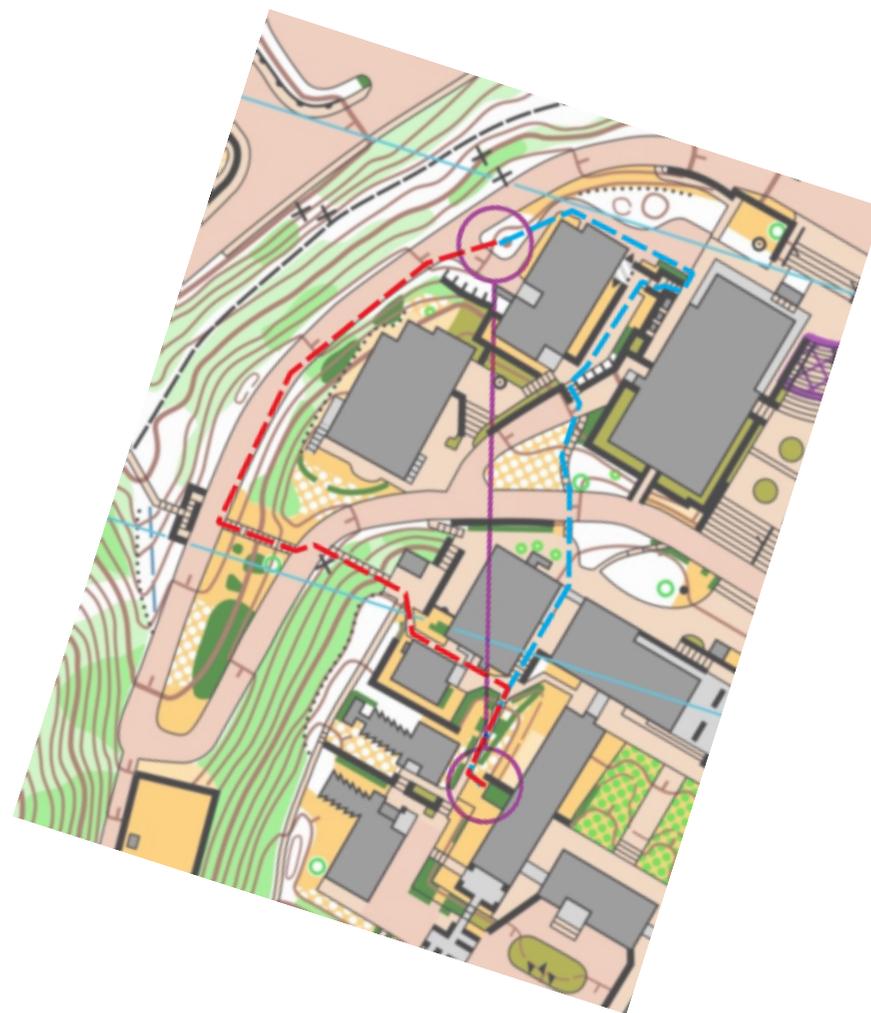
赤色：242 m

水色：230 m

最速は赤.

距離が短い水色より赤の方が速い理由はその速度の出しやすさ. 赤の最後のスピードの出しやすさと方向転換の少なさが距離の長さをカバーしている.

ただし, 水色の方向転換を上手く行えば水色でも遅くはない.



Ms 18→19

赤色 : 204 m (up 10 m)

水色 : 195 m (up 18 m)

もちろん最速は赤。
これは間違っではいけない。
距離が伸びるが登り量が明かに違
う。登りはかなり速度が低下する
ため、ここで登りが多すぎるルー
トを選ぶと致命傷になりかねない。
ルートへの登りはざっくりでいいの
で把握することがインカレでも求
められるはずである。



Ws 2→3

赤色：145 m

水色：122 m

最速は水色.

ただし、水色は2ポの目の前の斜面を上手く降りられることが前提であり、降りられなければ赤のように階段を使うルートが速くなる.



Ws 3→4

赤色 : 228 m

水色 : 220 m

濃青色 : 193 m

緑色 : 212 m

最速は濃青色だが、どのルートを取っても変わらない。

それよりもそのルートをいかに上手くこなせたかが重要になる。

その意味では赤が最速になる可能性は十分にある。



Ws 6→7

赤色：479 m

水色：410 m

濃青色：380 m

最速は濃青色.

水色はややS字になっておりこれだと距離が伸びてしまう. 赤は選んではいけないルート.

濃青色は体の向きが変わることも少ないが, 脱出が見えにくいためこのルートが見えないことはあるかもしれない.



Ws 10→11

赤色：184 m (up 3 m)

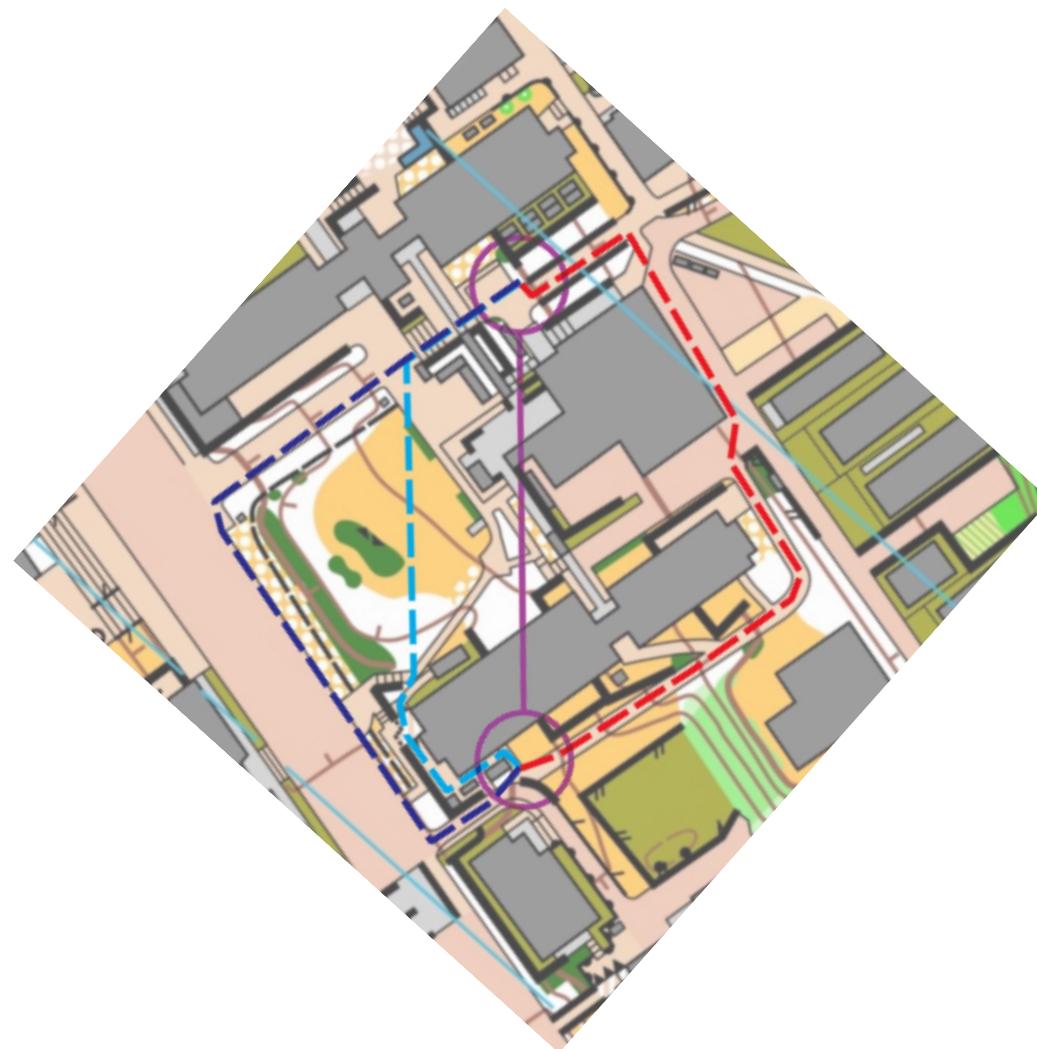
水色：144 m

濃青色：190 m (up 2 m)

最速は水色。建物の細いところを
通っていけば、距離も短く登り無
くすることができる。

赤は脱出が楽なので選んでしま
いたくなるが、距離が伸び、最後上
りもあるのでNG。

濃青が見えるかもしれないが、途
中でオープンを横切るルートが見
えてほしい。

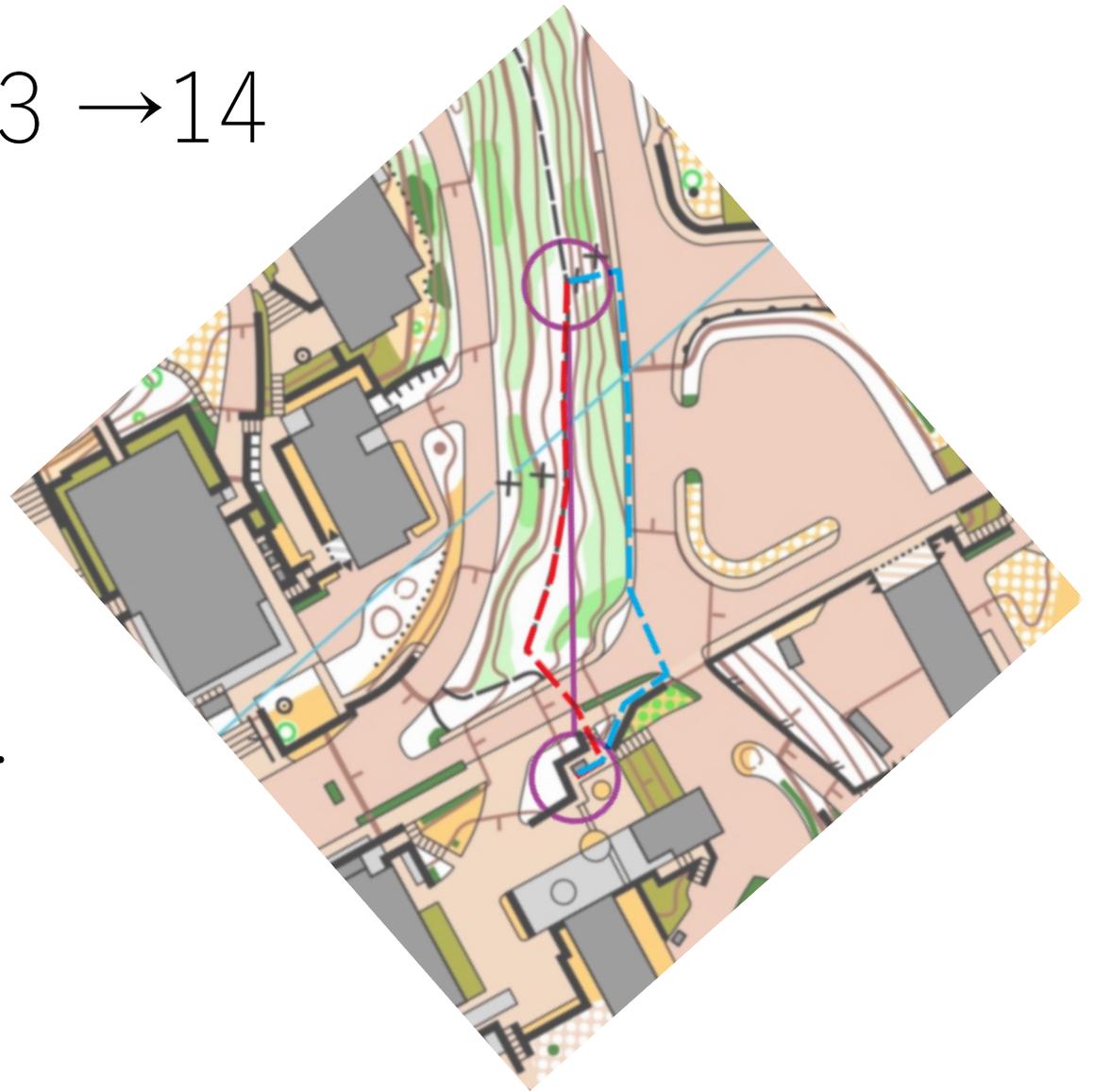


Ms 6→7 / Ws 13→14

赤色 : 124 m (up 4 m)

水色 : 139 m (up 8 m)

ここまで簡単なレグが連続した
中でのこのレグ。
体が下る方向に行った場合、水色
のようなレグを選んでしまうか
もしれないが、これは遅い。
最速は初めに少しだけ登り返す赤。
10~15秒程度の差が出ると予想し
ている。



Ws 17→18

赤色：244 m (up 26 m)

水色：348 m (up 26 m)

ほとんどルートチョイスがないが、
疲れている最終盤で、この細かい
レグが読めるかを問うた。

もし読めなければ大きく回ること
になり、ミスタイムは甚大となる。
最後まで地図をよく読み、最適な
ルートを選び続けることはとても
大切。

